

岡山理科大学
獣医学部 獣医保健看護学科

病院動物看護実習/獣医看護実務実習

実習要項

〇〇〇〇年



学生番号

氏名

目次

I.	獣医学部の教育	1
	1. 獣医学部の教育目的 2. 獣医学部獣医保健看護学科の教育目標 3. 獣医学部の教育方法	
II.	病院動物看護実習/獣医看護実務実習とは	2
	1. カリキュラムの中の位置づけ 2. 実習の目的 3. 実習の特徴	
III.	履修要件	2
IV.	単位認定	3
	1. 実習時間と単位の関係 2. 単位数・配当年次と時期 3. 成績評価 4. 単位認定	
V.	実習の方法	4
	1. 実習前準備 2. 受入施設等への事前連絡 3. 持ち物 4. 誓約書・履歴書 5. 実習に協力を得られる動物の所有者への説明と同意について 6. 受け持ち制の実習について 7. オリエンテーション 8. 留意事項 9. 実習報告会 10. 出席 11. 報告 12. 実習開始・終了時間ならびに実習日程	
VI.	実習記録	8
	1. 実習日誌の記載方法 2. 実習日誌及びメモの取り扱い 3. 実習実施報告書	
VII.	実習上のマナー等	10
	1. 実習における基本的マナー 2. 動物の所有者との関わりでの留意事項	
VIII.	実習施設への交通機関	10
IX.	傷害対策	10
X.	災害時等の留意事項	11
	1. 災害時の対応 2. 各災害時等における留意事項 3. 災害発生時等の大学の連絡窓口	
X I.	各状況時の対応	12
	1. 実習における医療安全の確保 2. インシデント・アクシデント発生時の対応 3. 実習中の事故予防と基本的な動物看護技術 4. 感染に関わる事故 5. 物品の紛失・破損事故 6. 個人情報の流出・漏洩 7. 交通事故 8. 実習中の受傷時の対応 9. ハラスメント時の対応	
X II.	動物看護者の倫理綱領	18

各種様式

I 獣医学部の教育

1. 獣医学部の教育目的

獣医学部は、獣医学、獣医看護学に関する知識及び技能を基盤として、実践的かつ応用的な教育を通して、高い生命倫理観と豊かな人間性、国際的視野を備え、ライフサイエンス分野の発展、及び動物とヒトの健康と福祉に貢献する人材の養成を目的とする。

2. 獣医学部獣医保健看護学科の教育目標

獣医保健看護学科は、動物の健康維持に必要な基礎的な獣医学知識、獣医看護学の専門知識と技能を持ち、獣医師とともに動物とヒトの健康と福祉、QOLの向上に貢献する人材の養成を目的とする。

ライフサイエンス研究において、重要な役割を担う実験動物の取扱いや管理等の知識と技能を有し、動物の病態を理解し、ライフサイエンス研究の基盤を支える人材を養成する。また、公共獣医事分野において、産業動物看護、感染症対策に関する知識と技能を有し、産業動物の管理を担うことで、食の安全・安心と感染症防御の基盤を支える人材を養成する。さらに、獣医療看護分野において、獣医看護学に関する専門的な知識と技能を備え、高度化する臨床獣医療において獣医師と連携・補完し合うチーム医療を実践し、動物とヒトの健康と福祉、QOLの向上に貢献する人材を養成する。

3. 獣医学部の教育方法

教育目的・教育目標を具現化するために各獣医学において講義・演習・実習という教育方法を用いる。

Ⅱ 病院動物看護実習/獣医看護実務実習とは

1. カリキュラムの中の位置づけ

病院動物看護実習及び獣医看護実務実習（Ⅰ、Ⅱ）は、動物看護学教育体系において実践を通じて、倫理と科学的根拠に基づき、計画的に実践する能力を養い、追求する学習として位置づけられている。

2. 実習の目的

動物病院、医療品開発・非臨床試験受託施設、動物園、牧場、農場、と畜場、実験動物を用いる大学の研究室、研究機関、動物繁殖施設、動物販売施設、動物用飼料開発・販売等、広く動物を扱う施設における現場実習により、VPPの役割を理解し、基本的なVPPとしての必要な態度を身につける。

なお、病院動物看護実習は、附属獣医学教育病院にて実施し、獣医看護実務実習（Ⅰ、Ⅱ）では職業適正や将来設計等を考え、学外の動物関連施設へ実習に赴く。

3. 実習の特徴

1) 十分な学習準備および実習後の学びの深化拡大と共有化

実際に動物に接する前までに、基本的動物看護学知識・技能、動物所有者との基本的なコミュニケーション能力を修得している必要がある。

2) 実践を通して、学内学習の検証と動物看護学の特質の追究

学生は、学内で学んだことを、実践を通して検証するに当たり、実習の目的にそって、自己の実習目標を設定し実習に臨む。学生は、自己学習を行った後、主体的に実習に臨み、大学の実習指導教員と実習施設の実習指導者の双方から指導を受ける。実習の終了後には、実習実施報告書を提出するとともに、報告発表を行う。

Ⅲ 履修要件

1) 学生教育研究災害障害保険（学研災）、学研災付帯賠償責任保険（学研賠）に加入していること。

2) 実習前に日本国外にいた場合、帰国後二週間を経過していること。

IV. 単位認定

1. 実習時間と単位の関係

実習においては 45 時間の学修をもって1 単位とする。

2. 単位数・配当年次と時期

実習名	単 位 数	時 間 数	◎ / ○	3年次			
				春1	春2	秋1	秋2
獣医看護実務実習Ⅰ※	1	45	○		↔		
獣医看護実務実習Ⅱ※	1	45	○		↔		
病院動物看護実習	2	90	○				↔

◎…必修科目、○…選択科目

※獣医看護実務実習Ⅰ、獣医看護実務実習Ⅱの配当年次は3年であるが、4年次でも履修を推奨する。卒業までにどちらかを修得すること。

3. 成績評価

1) 評価は、シラバスに記載された評価基準に従う。科目の担当教員が評価する。

病院動物看護実習：

定められた学習項目の達成度 60%、実習に臨む姿勢（症例、飼い主、獣医学教育病院スタッフとの関係）20%、症例／事例報告 20%により、成績を評価し、総計で 60%以上を合格とする。ただし、実習に臨む姿勢および症例／事例報告についての評価がそれぞれ 10%を下回る場合には、不合格とする。

獣医看護実務実習（Ⅰ、Ⅱ）：

実習へ参加態度として外部機関における実習を行うことにおける、本学学生としての責任と礼節に対する意識（20%）、実務実習の遂行に必要な書類作成（20%）、実習先からの評価（20%）、実務実習報告書（20%）、実習終了後の発表（20%）により行う。

2) 評価は、表に示すように、S、A、B、C、D、Eをもって表記する。

評価	成績値 (Grade Point)	判定	評点
S (秀)	4点	単位認定	90~100点
A (優)	3点	単位認定	80~89点
B (良)	2点	単位認定	70~79点
C (可)	1点	単位認定	60~69点
D (不可)	0点	単位不認定	0~59点
E	0点	単位不認定	出席回数不足又は最終評価試験を未受験

4. 単位認定

- 1) 各実習単位認定は、成績評価 S、A、B、Cとする。
- 2) 単位認定の時期は、各実習終了後に行う。

V. 実習の方法

1. 実習前準備

- 1) 実習開始までには、実習に必要な自己学習・図書の借用等の準備を整えておくこと。
- 2) 実習前には体調を整え、感染症予防に留意すると共に、感染症に罹患したと考えられる場合は、速やかに実習指導教員に連絡をする。
- 3) 実習先の受け入れ条件の中に健康診断、抗体価検査、予防接種等が必要な場合は実習開始前までに必要な対応を行う。

2. 受入施設等への事前連絡

病院動物看護実習の場合は、附属獣医学教育病院への事前連絡は担当教員が実施する。獣医看護実務実習の場合は、実習担当教員が調整後、実習受入先に、実習開始 2 週間前までに各自で連絡を取り、実習施設への到着時刻、交通手段、緊急連絡方法等の必要事項を確認する。ただし、大学が個々の学生についてこれらの情報を把握し、受入先に報告する場合は、その限りでない。

3. 持ち物

1) 日用品

日常衣服、身の回りの品、健康保険証、実習関連書類一式、その他受入先から指示されたもの

2) 実習用品

(1) 獣医学教育病院

作業着（看護衣）、筆記用具、その他獣医学教育病院から指示されたもの

(2) その他学外の動物関連施設

受入先から指示されたもの

4. 誓約書・履歴書

受入先からの指示事項を守り、万一受入先や動物飼育施設等に損害を及ぼした場合は、弁済する旨の誓約書（参考様式 1）を、実習開始前に受入先に提出する。

獣医看護実務実習においては、実習目的、志望理由を明記した学生履歴書を作成し、受け入れ先に提出する。

5. 実習に協力を得られる動物の所有者への説明と同意について

実習は、実習先の協力の下に行われる。実習先責任者には、学生が実習することの同意を得て行う。動物の所有者への説明（参考様式 2）は、実習受け入れ施設側と大学側が

双方で行う。実習指導教員は、実習受け入れ施設側より、学生が実習することについての同意を、文書等で得られた動物の所有者の提示を実習前に受ける。

6. 受け持ち制の実習について

動物の看護を受け持つ実習を行う場合には、対象となる動物を実習指導教員が配分する。ただし、目標達成のために、自分の受持ち対象動物以外の診療にも参加する機会が与えられる。受持ち動物制により実習を行う場合は、実習指導教員ならびに担当獣医師の指導を受けながら実習を行う。学生は、実習で行える技術水準項目を意識して実習に臨む。技術や手順が不明な点があれば事前に調べ、実習指導教員の指導を受ける。

7. オリエンテーション

学生は学科で計画されている実習のオリエンテーションに参加し、本実習の学習目的、実習方法について理解し、自己の学習課題を明確にし、学習に取り組む。

8. 留意事項

以下の事項は学生が実習中に特に留意しなければならない。

- 1) 日々の実習開始に当たっては、実習開始前に実習内容に関し実習指導担当者と共有を図り、許可を得て行う。
- 2) 学生は、常に生命倫理及び動物福祉に配慮する。(X II. 動物看護者の倫理綱領 参照)
- 3) 実習内容、指示された内容に不明な点がある場合は、実習指導担当者に確認してから行う。
- 4) 実習後に日々の実習状況を実習指導担当者と協議する。
- 5) 学生は、積極的に指導を受ける。
- 6) 学生は、実習を有意義な学習とするために自主的・主体的に行動をとる。

9. 実習報告発表会

実習終了後に、報告発表会を行う。実習報告会の目的は、学生相互の体験・学びの共有化、学生個々の思考の整理、他者の意見から学生自身の思考を深化・拡大することである。加えて、他者の意見と自己の意見との相違点・類似点を見出し、他者の意見を聞く・自らの意見を効果的に理解に導く等の専門職としてのコミュニケーション技術を身に付けることでもある。

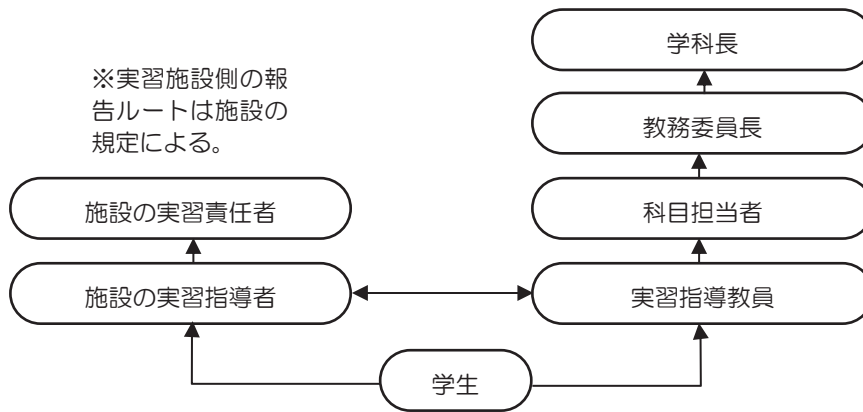
10. 出席

病院動物看護実習及び獣医看護実務実習は、実習施設はもとより、実習先との信頼関係を基盤に行われる専門的な活動である。信頼関係を重視した参加態度が求められる。

やむを得ない理由で、欠席・遅刻・早退する場合は、実習先および実習指導教員に速やかに連絡・報告する。

1 1. 報告

- 1) 学生の報告ルートは、下図を参照すること。
- 2) 実習中の緊急を要する情報は、実習施設の実習指導者、あるいは実習指導教員に速やかに報告する。



1 2. 実習開始・終了時間ならびに実習日程

1) 病院動物看護実習

(1) 実施日程

- ① 全体説明会：〇月〇日 〇限
- ② 内科・外科看護ローテーション：月～水
 1～4 班…〇月〇日～〇月〇日
 5～8 班…〇月〇日～〇月〇日
 ※班分けは別途掲示する。
- ③ 報告発表会：〇月〇日

(3) ローテーション

内科系、外科系を6日ずつ回る。(1 班 7～8 人)

●実習計画ローテーション

	1 週目	2 週目	3 週目	4 週目	5 週目	6 週目	7 週目	8 週目
1 班	内科系	内科系	外科系	外科系				
2 班	内科系	内科系	外科系	外科系				
3 班	外科系	外科系	内科系	内科系				
4 班	外科系	外科系	内科系	内科系				
5 班					内科系	内科系	外科系	外科系
6 班					内科系	内科系	外科系	外科系
7 班					外科系	外科系	内科系	内科系
8 班					外科系	外科系	内科系	内科系

2) 獣医看護実務実習

(1) 実施日程

- ① 全体説明会 ○月○日 ○限
- ② 履歴書の書き方 ○月○日 ○限
- ③ マナー講座 ○月○日 ○限
- ④ 実習先の確定 ○月○日まで

- ・実習期間中の宿泊等にかかる費用は自己負担であることを踏まえ、実習場所を選定する（実家から通える範囲、宿舎のある施設を選定など）。
- ・各自電話等により、希望する施設に実習の受け入れを交渉する。
- ・大学に紹介された施設でも交渉は学生自身で行う。

- ⑤ 書類作成と提出 ○月○日まで

実習施設の内諾を得た段階で、ただちに「登録書」（参考様式 5）及び「履歴書」（参考様式 6）に必要事項を記入して担当教員に提出する。書類提出を受けてから実習先との事務手続きを行うため、書類提出期限は厳守すること。

- ⑥ 実習前説明会 ○月○日
- ⑦ 実習の実施 夏休み期間中に実施
- ⑧ 実務実習報告会 ○月予定

(2) 開始時間

各実習施設の指示に従う。

VI.実習記録

1. 実習日誌の記載方法

- 1) 実習日誌(参考様式3)は、原則として手書きで記載し、実習先に提出する。ただし、科目の担当教員の指示があるものはパソコン等を使用して記載することができる。
- 2) 実習施設の診療記録の記載は行わない。

2. 実習日誌及びメモの取り扱い

1) 実習中の記録物の扱い

- (1) 実習専用のファイルに綴じ、学生各自で責任を持ち、不用意に人の目に触れないようにする。
- (2) 実習施設内では、実習日誌を所定の場所に保管し、持ち歩かない。
- (3) 施設内の移動時には、記録はファイルに綴じ、ファスナーのついた袋に入れ、散逸しないようにする。
- (4) 日々の実習終了時に学生控室を出るときは、記録一式が揃っているか確認する。
- (5) 通学途中で実習日誌の出し入れはしない。
- (6) 記録を入れたバッグなどは常に身につけ、電車の網棚に置く、自転車の籠に入れる等の置き忘れに結びつく行為は行わない。
- (7) 置き引きや自家用車内での盗難に十分注意する。

2) 個人情報 を考慮した記載の厳守

- (1) 個人情報保護・秘密厳守を厳守する。

獣医看護実務実習においては実習先の規程に従う。病院動物看護実習においては、対象動物、動物の所有者の住所(連絡先含む)、動物の所有者名、病院(施設)名、病棟名など、対象者の特定につながる情報は、記載しない。

- (2) 学生氏名は、記号を記載する。
- (3) 連絡先となりうる情報は、診療録、獣医記録より写し取らない。
- (4) 実習施設の住所、病院(施設)名も個人の特定につながるため、記載しない。
- (5) 学習をすすめるうえで必要不可欠な情報のみを収集する。
- (6) 記録の下書きや書き損じ、不要となった記録などは、速やかにシュレッダーにかける、持ち歩いたり捨てたりしない。

3) 複写

実習日誌の複写は実習指導教員の指示がある場合以外は行わない。

- (1) 指示や許可があった場合のみ、大学内及び実習施設内の指示された場所で行う。
- (2) コピーをした時は、原紙及びコピーした枚数(ミスプリントも含む)が全て揃っているかその場で確認する。

4) 写真等の無断撮影とネット掲載の禁止

- (1) 施設、人物、動物、機器等の写真や動画撮影は、実習先担当者の許可を得て行う。
- (2) 撮影した写真等を学会の実習報告及び提出レポートで使用したい場合はそのことについても承諾を得る。
- (3) 撮影の承諾を得た動画・写真であっても、ホームページ、ブログ、SNS (facebook、twitter、mixi、LINE 等)、共有サイト等に掲載することは、限られたネット環境であっても禁止する。

5) SNSへの情報流出・漏洩があった場合

- (1) 発見した場合、学生は、実習指導教員、担当獣医師に報告するとともに、直ちに書き込みを中止・削除する。必要時、施設の実習責任者に報告する。
- (2) 当該学生は実習指導教員の指示に従う。

6) 実習日誌の置き忘れ、紛失、盗難した場合

学生は、実習指導教員、担当獣医師に報告し、必要時、施設の実習責任者に報告して指示を受ける。

3. 実習実施報告書

1) 実習実施報告書様式

実習ごとに指定された様式（参考様式4）を用いる。

2) 提出方法

指定された日時までに指示された方法で大学に提出する。

Ⅶ.実習上のマナー等

1. 実習における基本的マナー

- 1) 規則的な生活習慣を心がけ、健康管理に心がける。
- 2) 時間管理を十分に行い、5分前行動をする。
- 3) 忘れ物が無いように、持ち物の早めの準備や確認を行う。
- 4) 報告、連絡、相談を適時行う。
- 5) 個人衛生に心がけ、爪は切り、ハンカチやティッシュを持つ。
- 6) 髪の毛は清潔にし、顔を覆ったり、肩にかかったりしないようにまとめる。
- 7) マニキュアや派手な化粧、香水、アクセサリ、カラーコンタクト、睫のエクステンション等はしてはならない。
- 8) 使用した物品は必ず元に戻す。
- 9) 原則清潔な作業着（看護衣）を着用する。
- 10) 言葉づかいは、相手に敬意を払った丁寧な口調で話す。
- 11) 見学や実習時の行動は慎重に行い、粗雑や乱暴に行ってならない。
- 12) 誰にでも明るく挨拶を行い、返事や意見は的確に伝える。
- 13) 関係者と十分なコミュニケーションを取る。
- 14) 積極的に質問する。
- 15) 携帯電話は電源を切るか、マナーモードにし、原則として、休憩時間以外は使用しないこと。

2. 動物の所有者との関わりでの留意事項

- 1) 動物の所有者からの依頼は、すべて指導教員または担当獣医師に連絡する。学生が単独で看護を実施することは絶対にしない。
- 2) 動物の所有者からの金品の提供があった場合もすべて速やかに実習指導教員、担当獣医師に連絡する。
- 3) 自分および他の学生の連絡先（住所、メールアドレス、電話番号等）は伝えない。

Ⅷ.実習施設への交通機関

獣医看護実務実習への交通機関は原則として、公共交通機関を利用するが、実習施設により異なる場合があるため、オリエンテーション時の指示に従う。

Ⅸ.傷害対策

- 1) 学生は学生教育研究災害障害保険（学研災）、学研災付帯賠償責任保険 C コース（医学賠）に加入する。学研災付帯賠償責任保険 C コース（医学賠）の補償は実習中および学校管理下の事故の定義に示した傷害事故、賠償事故、感染事故等の事故に対応している。
- 2) 賠償責任が生じた場合や感染が疑われた事態では、実習指導教員は科目責任者に連絡し、対応の依頼をする。学生は、実習指導教員に報告し、指示に従う。

X.災害時等の留意事項

1. 災害時の対応

- 1) 実習施設毎にある災害時の対応を把握しておく。
- 2) 災害時には各実習施設の責任者の指示に従い、避難する。
- 3) 避難後は、実習指導教員に状況を連絡する。

2. 各災害時等における留意事項

1) 暴風警報または特別警報発令の場合

(1) 学生便覧の「緊急事態発生時の授業、試験の取扱い」に従う。

※今治市以外で暴風警報が発令された場合は、(1)に準じて行動し、実習指導教員へその旨を連絡する。

(2) 実習中止及び再開については、科目の担当教員から学生および実習施設への連絡を行う。

(3) 実習中に実習施設において警報発令がなされた場合、実習先の指示に従う。

2) その他の緊急事態の場合

学生便覧の「その他の緊急事態の場合」に従う。

3. 災害発生時等の大学の連絡窓口

日中の連絡先（9：00～17：00）； 学生課または教務課のいずれか	学生課：〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 教務課：〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
夜間（9:00 以前及び 17：00 以降）； 守衛室	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

X I .各状況時の対応

1. 実習における医療安全の確保

自分自身、動物、実習施設内における医療安全の確保は最重要課題である。リスクマネジメントの手法（リスクの把握→リスクの分析→リスクへの対応→対応の評価）を用いて、安全を確保することが、VPPの質の保証に貢献することになる。

2. インシデント・アクシデント発生時の対応

学生の実習中に想定される事故には、医療事故の他に、感染に関わる事故、セクシャルハラスメント、物品破損、個人情報の流出・漏洩、交通事故などがある。

1.学生の心身に危害が及ぶ可能性のあるもの
<ul style="list-style-type: none">・学生に針刺し事故が発生した場合・実習施設において感染症が発生し、学生に罹患の疑いがある場合・学生に自損、他損事故が生じた場合（実習施設への行き帰りを含む）・学生が対象動物などから危害を受けた、または受けそうになった場合・学生が動物の所有者などから危害を受けた、または受けそうになった場合（セクシャルハラスメントを含む）
2.学生が加害者となる可能性のあるもの
<ul style="list-style-type: none">・学生が対象動物などに害（転倒・転落、熱傷、誤薬、損傷等）を与えた、または与えそうになった場合・学生が感染症に罹患し、感染源となる可能性が生じた場合・実習施設の設備・備品、医療機器等の破損・紛失に関係した場合・学生が個人情報の保護を怠った場合（記録の紛失を含む）・学生が担当獣医師や実習指導教員の指導・助言を得ずに、自己判断で何らかの診療・医療行為を行った場合・学生が必要な報告（行った診療・医療行為の効果や学生が知り得た情報等）を怠った場合

1) 医療事故について

医療事故とは医療の全過程において発生するすべての事故のことである。事故が予測不応あるいは回避不可能であった場合も含めていう。

(1) 医療事故発生時の対応

＜インシデント・アクシデントが発生した場合＞

- ①実習先で医療事故が発生した場合、学生は実習指導教員と担当獣医師に報告を行い、施設の実習責任者等に報告する。
- ②実習施設より施設の書類の記載を求められた場合は、その内容に応じて対処する。
- ③実習指導教員は、科目の担当教員・教務委員長・学科長・事務担当者に報告す

る。

(2) 実習指導教員は、科目の担当教員・教務委員長・学科長に報告する。

3. 実習中の事故予防と基本的な動物看護技術

農林水産省は、「獣医師法第 17 条の中で獣医師でなければ、飼育動物（牛、馬、めん羊、山羊、豚、犬、猫、鶏、うずらその他獣医師が診療を行う必要があるものとして政令で定めるものに限る。）の診療を業務としてはならない。」とあり、人間に対してクリニックや医院などで医療行為を施す看護師とは異なり、動物看護師に国家資格や公的な資格は現在のところ存在しない。その上で、学生が実習で動物看護行為を実施するにあたっては、対象動物及び学生の安全のために、次のような条件を整える必要がある。

- 1) 動物福祉、安全性の確保を最優先とし、動物の所有者に対して事前に十分な説明を行い、同意を得て実施する。
- 2) 動物看護技術の実施にあたっては、実習において学生が行う基本的な動物看護技術を参考に、実習指導教員、担当獣医師による適切な指導・助言のもとに行う。

項目	基本的な動物看護技術
診察に関わること	動物の保定
	器具の準備、消毒、片付け
	入院動物のケアや健康管理
	体温や脈拍の測定、血液検査や尿検査などの検査
	病状や治療内容、検査結果について飼い主へ説明
	手術の際に獣医師の助手を務める
	カルテの管理
薬剤に関すること	病院内に保管している薬の管理や製薬会社への注文
	獣医師が処方、調合した薬を確認し、飼い主に説明して渡す
病院事務に関する こと	受付窓口での対応
	会計業務
	電話やメールでの問い合わせ対応
その他	病院内の清掃、消毒
	診察に使用するタオルや手術用の滅菌布などの洗濯、管理
	患者や飼い主がリラックスできるための環境づくり

4. 感染に関わる事故

実習を行う獣医療現場は、常に感染源としての病原微生物が存在している恐れがある。学生が獣医療チームの一員に加わって実習を行う際、感染に関する知識をもち、感染予防策を熟知し、実行することが求められる。感染予防については実習先に規定および、定期的にアップデートされている CDC の示す標準予防策と感染経路別予防策を施設の状況に

応じて実施する。

その目的は、①自分自身を感染から守り、②他者を感染から守り、さらに③感染の拡大を予防することであり、それらは獣医療従事者としての責任である。実習中に病原微生物の汚染を受けて感染症を起こしたり、病原微生物あるいは汚染物の処理を無意識に行ったり、スタンダード・プリコーション「標準的予防策」を守らないなど、他者を感染の危険にさらす行為は、絶対に避けなければならない。

1) 実習中予想される感染に関わる事故

- (1) 針刺し事故 (2) 体液暴露 (3) 外傷・接触・飛沫・空気感染

2) 感染の可能性が高い対象

感染を予防するためには、感染の成立要因としての感染源、感染経路を熟知する必要がある。特に注意を要する対象は、以下に上げるものである。

(1) 血液、体液及びそれらの付着物など

動物の血液や体液は病原微生物が混在しているものとして取り扱う。

(2) 各種排泄物及び検体等

動物の排泄物やそれに汚染されたものはもちろん、健康動物からの検査用に採取された材料も注意を要する。

(3) 病原微生物に汚染された器材

動物からの検体採取に用いた注射器（特に注射針）、検体を入れた試験管等も危険である。

3) 感染に関わる事故発生時の対応

学生は速やかに実習指導教員、担当獣医師に報告し、担当獣医師から施設の実習責任者に報告された後、当該施設の感染対策に従って行動する。受診が必要と判断された場合は直ちに受診し、医師の指示に従う。

感染事故が確認された場合、科目の担当教員は、健康管理課に報告する。

4) 実習における感染予防のための対策

(1) 日常の健康管理を心がける。

- ①過労をさける。バランスのよい規則正しい食生活、身体の清潔、手指の外傷の予防等を行う。
- ②手洗いとうがいを励行する。
- ③自分の健診結果を知り、必要な行動をとる。

(3) 予防策の実施

①基本的な考え方

すべての血液・検体は潜在的に感染性があるため、感染症の有無に関わらず、スタンダード・プリコーションについて理解し、実行することが重要である。

表2 スタンダード・プリコーション

クライアントの血液、体液、分泌物、排泄物等で衣服が汚染される可能性がある場合、ガウンやプラスチックエプロンを着用する。
飛沫感染が起こりうる時にはマスクやゴーグルを着用する。
血液、体液、分泌物、排泄物等に接触する時には手袋を着用し、使用後には手洗いをする。
血液、体液、分泌物、排泄物等に触れた後は手袋の着用に関わらず日常的手洗いをする。

②実習中の感染予防における留意点

- 作業着（看護衣）は清潔なものを着用する。
- 手指の清潔では、爪は短く、手指の手入れ、手洗いを励行する。
- うがいを励行し、健康管理を心がける。
- 必要時マスクを装着する。

5. 物品の紛失・破損事故

1) 物品の紛失・破損事故とは

故意または過失の有無を問わず、施設やクライアントの所有財産に損害を与えた場合のことである。

2) 施設所有物の場合

- (1) 学生は速やかに、施設の実習担当者へ報告する。
- (2) 賠償責任を負う必要がある場合は、学生課への連絡を指示し、保険適応について相談する。
- (3) 当該施設書類の記載を求められた場合は、所定の記録に記入する。

3) 病院動物看護実習において動物の所有者の所有物の場合

- (1) 指導教員・担当獣医師にただちに報告する。
- (2) 賠償責任を負う必要がある場合は、指導教員が学生課へ報告する。
- (3) 当該施設書類の記載を求められた場合は、所定の記録に記入する。

6. 個人情報の流出・漏洩

1) 法令より

「個人情報」とは、個人情報保護法においては「生存する個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができること）をいう。

2) 個人に関する情報とは

氏名、性別、生年月日等個人を識別する情報に限られず、個人の身体、財産、職種、肩書き等の属性に関して、事実、判断、評価を表すすべての情報であり、評価情報、公刊物等によって公にされている情報や、写真・映像・音声による情報も含まれ、暗号化されているか否かを問わない。また、診療録には獣医師が行った判断や評価が書いてある物もあり、獣医師個人の情報ともいうことができる。したがって、診療録等に記載されている情報の中には、クライアントと獣医師等双方の個人情報という二面性を持っている部分もあることに留意が必要である。なお、死んだ動物に関する情報が、同時に、遺族等の生存する個人に関する情報でもある場合には、当該生存する個人に関する情報となる。

3) 個人情報の流出・漏洩

個人情報の流出・漏洩とはその情報が記録やメモあるいは口頭、SNS等で、保護されるべき場所から他に漏れることである。実習における流出・漏洩の具体的例は、公の場での会話、SNSへの書き込み・つぶやき、実習記録用紙類（メモを含む）の置き忘れ、紛失、盗難等を指す。

個人情報の取り扱いに関する法律・規定は、表3のとおりである。

表3) 個人情報の取り扱いに関する法律・規定

<p>個人情報の保護に関する法律</p> <p>(基本理念)</p> <p>第3条 個人情報は、個人の人格尊重の理念の下に慎重に取り扱われるべきものであることにかんがみ、その適正な取扱いが図られなければならない。</p> <p>(利用目的の特定)</p> <p>第15条 個人情報取扱事業者は、個人情報を取り扱うに当たっては、その利用の目的をできる限り特定しなければならない。</p> <p>(利用目的による制限)</p> <p>第16条 個人情報取扱事業者は、あらかじめ本人の同意を得ないで、前条の規定により特定された利用目的達成に必要な範囲を超えて、個人情報を扱ってはならない。</p>
<p>刑法</p> <p>(秘密漏示)</p> <p>第134条</p> <p>医師、薬剤師、医薬品販売業者、助産師、弁護士、弁護人、公証人又はこれらの職にあった者が、正当な理由がないのに、その業務上取り扱ったことについて知り得た人の秘密を漏らしたときは、6月以下の懲役又は10万円以下の罰金に処する。</p>

4) 情報流出・漏洩予防策

(1) 自宅では、家族や近親者、友人等であっても実習で知り得た個人情報は口外しない。

- (2) 実習施設内、学内であっても不特定多数が行きかう場所では取り扱わない。
- (3) 実習施設への行き帰りの交通機関や喫茶店、レストラン等の不特定多数の人が行きかう場所では、取り扱わない。
- (4) 実習施設により、個人情報保護に関する誓約書の提出を求められた場合、内容を良く理解し、誓約する。
- (5) 記録の管理について
 - ①記録用紙の取り扱いについて
(Ⅵ 実習記録 2. 実習日誌及びメモの取り扱い) 参照
 - ②記録紛失に気づいたときは、直ちに実習指導教員に報告し、対処について指示を受ける。
 - ③クライアントおよび動物患者に関する情報のうち、電子化されたデータは、実習終了後責任をもって消去しなければならない。

7. 交通事故

実習に関わる交通事故とは、実習先への通学及び帰宅途上にあるときや、実習中の移動、あるいは実習先の施設車両（公用車）に同乗していたときに遭遇した交通事故のことである。

1) 学生自身が事故の当事者として遭遇した交通事故

- (1) 学生は速やかに、実習指導教員、担当獣医師、実習先担当者に状況、実習が継続できる状況であるか否か、今後の対応について報告し、実習指導教員の指示を受ける。
- (2) 通院、入院が必要な場合には、学生本人または実習指導教員から学生課に連絡する。

2) 実習中の施設車両（公用車等）に同乗していた場合の交通事故

- (1) 学生は速やかに、実習指導教員、担当獣医師、実習先担当者に状況、実習が継続できる状況であるか否か、今後の対応について報告し、実習指導教員の指示を受ける。
- (2) 学生が通院、入院が必要な場合には、学生課に連絡する。

8. 実習中の受傷時の対応

- 1) 学生は実習中に外傷を受けた場合または疾患に罹患した場合は、実習指導教員、担当獣医師、実習指導教員に直ちに報告し、指示に従う。
- 2) 実習指導教員は、科目責任者・教務委員長・学科長に報告する。

9. ハラスメント時の対応

学生便覧「ハラスメントの相談について」参照

X II. 動物看護者の倫理綱領（日本動物看護職協会）

学生は、以下の動物看護者の倫理綱領について確認し、実習に臨む。

動物看護者の倫理綱領

【前文】

動物も人と同様に、自らの存在を尊重され、健やかな生活を送ることを願っている。しかし、動物たちには言葉はなく、直接人に訴えることはできない。人は、動物たちが人に何を望んでいるかを常に考え、動物たちの思いに応えなければならない。

動物看護者は、動物の看護を業務として動物医療の最前線で活動する専門職である。動物の看護は、多様な環境に生存する多様な動物種を対象として、動物の健康の保持と増進、病気の予防と動物医療の補助につとめ、動物たちが健やかな一生を全うするように援助することを目的としている。

日本動物看護職協会の『動物看護者の倫理綱領』は、動物医療施設における患者対象となる家庭動物のみならず、学校飼育動物、教育・研究用実験動物、産業動物、さらに野生動物等を対象とするあらゆる場で動物看護を実践する専門職の行動指針であり、自己の実践を振り返る際の基盤を提供するものである。また、動物看護について専門職として引き受ける範囲を社会に対して明示するものである。

【綱領】

1. 動物看護者は、動物の生命、動物の権利を尊重し、動物福祉の向上に努める。
2. 動物看護者は、看護の対象となる動物並びにその飼育者に対して等しく誠意を持って対応する。
3. 動物看護者は、看護動物の飼育者との間に信頼関係を築き、その信頼関係に基づいて看護を提供する。
4. 動物看護者は、看護動物の飼育者の知る権利及び決定権を尊重する。
5. 動物看護者は、守秘義務を遵守し、業務上知り得た飼育者並びに看護動物の情報の保護に努め、また、これを他者と共有する場合には十分な配慮のもとに行う。
6. 動物看護者は、対象となる動物の看護を行う状況が阻害されているときや危険にさらされているときは、その動物を保護し安全を確保するよう努める。
7. 動物看護者は、自己の意志を持ち、自己の責任と能力を的確に認識し、自らの看護に責任を持つ。
8. 動物看護者は、個人の責任として学習を継続し、動物看護に必要な知識と技能の維持と開発に積極的に努める。
9. 動物看護者は、他の動物看護者及び動物医療関係者と協働して、良質な動物看護を提供する。
10. 動物看護者は、より質の高い動物看護を行うために、看護実践、看護管理、看護教育及び看護研究に必要な基準を設定し、それを実施する。
11. 動物看護者は、看護実践を通して、専門的知識・技術の創造と開発に努め、動物看護

学の構築と発展に寄与する。

12. 動物看護師は、社会の信頼を得るように、個人としての品行を常に高く維持する。また、より質の高い動物看護を行うために、自らの健康の保持に努める。

13. 動物看護師は、動物の看護とともに、人と動物の共通疾病にも配慮し、人の健康及び公衆衛生に貢献する。

14. 動物看護師は、より良い社会づくりのために、環境問題について社会的認識を深め、その改善に努める。

15. 動物看護師は、日本動物看護職協会を通じて、動物看護職の社会的認知と評価を高め、動物医療と動物看護の発展に寄与し、より良い社会づくりに貢献する。

各種様式

殿

岡山理科大学獣医学部獣医保健看護学科3年生の（病院動物看護実習/獣医看護実務実習）を行うにあたり、特に以下の事項について保証人と連帯責任のもとに誓約いたします。

記

1. 【貴組合（会）職員・貴施（社・施設・機関・園）担当者】の指示に従って、規律ある行動をとります。これに違背した時は、実習を中止されても異議はありません。
2. 実習期間中に被った一切の事故（交通事故を含む）に係る損害についてはすべて私どもの負担とし、【貴組合（会）職員・貴施（社・施設・機関・園）担当者】には一切迷惑をかけません。
3. 【貴組合（会）職員・貴施（社・施設・機関・園）担当者】の施設、器具等を破損した場合は、私どもが弁済いたします。
4. 【貴組合（会）職員・貴施（社・施設・機関・園）担当者】の事務上機密に属する事項及び個人情報については、実習期間中及び実習終了後においても一切これを漏洩しません。

以上

年 月 日

岡山理科大学 獣医学部獣医保健看護学科

住所

学生氏名 _____ ⑩

保証人住所

保証人氏名 _____ ⑩

緊急連絡先（保護者）

電話

氏名

様

岡山理科大学獣医学部獣医保健看護学科3年生の（病院動物看護実習/獣医看護実務実習）にあたり、 年 月 日より 月 日までの間、動物看護補助等をさせていただきたく存じます。なお、学生の実務実習では、以下の基本的な考え方で臨むことになっております。獣医看護教育の必要性をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

【説明内容】

1. 実習に参加する学生はすべて事前指導を受けて参加させます。
2. 学生が動物看護補助を行う場合、担当獣医師から事前に十分かつ分かりやすく説明を行い、同意を得てから行います。
3. 学生が動物看護補助を行う場合、安全性の確保を最優先とし、事前に獣医師の助言・指導を受け、技術を習得してから臨みます。
4. 学生の実習に関するご意見・ご質問がある場合、獣医師に直接尋ねることが出来ます。
5. 実習の説明に同意した後も、学生が行う動物看護補助に対して拒否や受け持ちの辞退をすることができます。いずれの場合でも、治療上において、なんら不利益が生じることはありません。
6. 学生は実務実習を通して知りえた個人に関する情報について、実習以外の目的で使用することはありません。

年 月 日

実習施設名 _____

責任者氏名 _____

岡山理科大学 獣医学部獣医保健看護学科

実習指導獣医師氏名 _____

(自筆署名)

学生氏名 _____

(自筆署名)

同意書

私は、上記の説明内容を理解し、学生の教育に協力することに同意いたします。

年 月 日

氏 名 _____

(動物の名前) _____

実 習 日 誌

岡山理科大学
獣医学部 獣医保健看護学科

氏名 印

第 日目: 年 月 日 時 分 ~ 時 分 (時間 分)

実 習 機 関 実 習 部 署 名	
実施内容 (業務内容・手順など)	
学んだ事、反省点	
実施指導者役職・氏名	印
所見	

(学生から実習先へ提出)

実習実施報告書

年 月 日提出

学生番号				
氏 名				
指導教員名				
受入れ団体名				
受入れ部署名				
指導責任者 役職・氏名				
実習期間	年 月 日 ~ 年 月 日			
	日 程	時 間	内 容	担当(部署)
1 日 目	／ ()			
2 日 目	／ ()			
3 日 目	／ ()			
4 日 目	／ ()			
5 日 目	／ ()			
6 日 目	／ ()			

	日程	時間	内 容	担当(部署)
7 日 目	/ ()			
8 日 目	/ ()			
9 日 目	/ ()			
10 日 目	/ ()			
11 日 目	/ ()			
12 日 目	/ ()			
13 日 目	/ ()			
14 日 目	/ ()			

実習により得た成果・感想など記述してください。

(学生から大学へ提出)

実習施設登録書

フリガナ 氏名	印	学生番号	
生年月日 (年齢)	年	月	日 (歳) 男・女
フリガナ 住所	〒 — 携帯電話番号:		
フリガナ 緊急連絡先 (帰省先等)	氏名 本人との関係 () 〒 — TEL・FAX:		
フリガナ 滞在先	氏名/名称 本人との関係 () 〒 — TEL・FAX:		

フリガナ 実習先名称			
フリガナ 所在地	〒 — TEL・FAX		
フリガナ 代表者名	TEL・FAX		
フリガナ 担当部署 担当者名	TEL・FAX		
業務内容			
E-mail			
URL			
実習期間	(年 月 日 ~ 年 月 日 (時間))		
担当教員署名		実習の職種	

団体名	
志望理由（希望する団体等でなぜ実務実習を経験したいのか）	

自己PR（学生生活の中で熱心に取り組んでいることなど）	

（学生履歴書）

● 獣医保健看護学科 病院動物看護実習及び外科動物看護技術学実習ローテーション表、教員配置

- 病院動物看護実習(ガイダンス、見学、症例発表)
- 病院動物看護実習(内科系)
- 病院動物看護実習(外科系)

病院動物看護実習 2単位 ①～④コマ

病院動物看護実習および外科動物看護技術学実習についてはいずれも第3学年第4期開講のため、学年を8班に別けさらに2グループでシフト制により実習を行う。

■ 外科動物看護技術学実習 1単位 ①～③コマ

外科動物看護技術学実習における、術前アセスメント、外科的処置(2日)、救急救命については2グループ同時に実習を行い、術後管理実習を病院動物看護実習とのローテーションシフトで1グループずつ受講する。

1週目					2週目					3週目					4週目													
月	1時限	2時限	3時限	4時限	月	1時限	2時限	3時限	4時限	月	1時限	2時限	3時限	4時限	月	1時限	2時限	3時限	4時限									
月	1班	ガイダンス ① 神田伊藤	ガイダンス ② 神田伊藤	獣医学教育病院見学 ③ 北川 小沼 古川 佐々木	獣医学教育病院見学 ④ 北川 小沼 古川 佐々木	全員	1班	内科 ⑬ 星	内科 ⑭ 小沼	内科 ⑮ 岩田	内科 ⑯ 北川	1～4班 病院3日目	1班	外科 ⑲ 神田	外科 ⑳ 神田	外科 ㉑ 佐々木	外科 ㉒ 佐々木	1～4班 病院6日目	1班	内科 ⑨ 星	内科 ⑩ 星	内科 ⑪ 小沼	内科 ⑫ 小沼					
	2班						内科 ⑬ 小沼	内科 ⑭ 小沼	内科 ⑮ 北川	内科 ⑯ 北川	2班		外科 ⑲ 糸井	外科 ⑳ 糸井	外科 ㉑ 古川	外科 ㉒ 古川	2班		内科 ⑨ 岩田	内科 ⑩ 岩田	内科 ⑪ 北川	内科 ⑫ 北川						
	3班						外科 ⑲ 神田	外科 ⑳ 神田	外科 ㉑ 佐々木	外科 ㉒ 佐々木	3班		内科 ⑲ 星	内科 ⑳ 星	内科 ㉑ 岩田	内科 ㉒ 北川	3班		外科 ⑲ 神田	外科 ⑳ 神田	外科 ㉑ 佐々木	外科 ㉒ 佐々木						
	4班						外科 ⑲ 糸井	外科 ⑳ 糸井	外科 ㉑ 古川	外科 ㉒ 古川	4班		内科 ⑲ 伊藤	内科 ⑳ 伊藤	内科 ㉑ 佐々木	内科 ㉒ 佐々木	4班		外科 ⑲ 糸井	外科 ⑳ 糸井	外科 ㉑ 古川	外科 ㉒ 古川						
	5班										5班						5班						5～8班 病院2日目	5班	内科 ⑬ 星	内科 ⑭ 星	内科 ⑮ 小沼	内科 ⑯ 小沼
	6班										6班						6班						6班	内科 ⑬ 岩田	内科 ⑭ 岩田	内科 ⑮ 小沼	内科 ⑯ 小沼	
	7班										7班						7班						7班	外科 ⑲ 神田	外科 ⑳ 神田	外科 ㉑ 佐々木	外科 ㉒ 佐々木	
	8班										8班						8班						8班	外科 ⑲ 糸井	外科 ⑳ 糸井	外科 ㉑ 古川	外科 ㉒ 古川	
火	1班	内科 ⑤ 小沼	内科 ⑥ 小沼	内科 ⑦ 岩田	内科 ⑧ 岩田	1～4班 病院1日目	1班	内科 ⑰ 小沼	内科 ⑱ 小沼	内科 ⑲ 小沼	内科 ⑳ 小沼	1～4班 病院4日目	1班					1～4班 病院5日目	1班									
	2班	内科 ⑤ 岩田	内科 ⑥ 岩田	内科 ⑦ 北川	内科 ⑧ 北川		2班	内科 ⑰ 岩田	内科 ⑱ 岩田	内科 ⑲ 北川	内科 ⑳ 北川		2班						2班									
	3班	外科 ⑤ 神田	外科 ⑥ 神田	外科 ⑦ 佐々木	外科 ⑧ 佐々木		3班	外科 ⑰ 伊藤	外科 ⑱ 伊藤	外科 ⑲ 佐々木	外科 ⑳ 佐々木		3班						3班									
	4班	外科 ⑤ 糸井	外科 ⑥ 糸井	外科 ⑦ 古川	外科 ⑧ 古川		4班	外科 ⑰ 糸井	外科 ⑱ 糸井	外科 ⑲ 古川	外科 ⑳ 古川		4班						4班									
	5班						5班						5班						5班	内科 ⑬ 星	内科 ⑭ 星	内科 ⑮ 岩田	内科 ⑯ 北川					
	6班						6班						6班						6班	内科 ⑬ 岩田	内科 ⑭ 岩田	内科 ⑮ 小沼	内科 ⑯ 小沼					
	7班						7班						7班						7班	外科 ⑲ 神田	外科 ⑳ 神田	外科 ㉑ 佐々木	外科 ㉒ 佐々木					
	8班						8班						8班						8班	外科 ⑲ 糸井	外科 ⑳ 糸井	外科 ㉑ 古川	外科 ㉒ 古川					
水	1班	内科 ⑨ 星	内科 ⑩ 星	内科 ⑪ 岩田	内科 ⑫ 岩田	1～4班 病院2日目	1班	外科 ㉑ 神田	外科 ㉒ 神田	外科 ㉓ 佐々木	外科 ㉔ 佐々木	1～4班 病院5日目	1班					5～8班 病院1日目	1班									
	2班	内科 ⑨ 久楽	内科 ⑩ 久楽	内科 ⑪ 小沼	内科 ⑫ 小沼		2班	外科 ㉑ 糸井	外科 ㉒ 糸井	外科 ㉓ 古川	外科 ㉔ 古川		2班						2班									
	3班	外科 ⑨ 神田	外科 ⑩ 神田	外科 ⑪ 佐々木	外科 ⑫ 佐々木		3班	内科 ㉑ 星	内科 ㉒ 星	内科 ㉓ 岩田	内科 ㉔ 岩田		3班						3班									
	4班	外科 ⑨ 糸井	外科 ⑩ 糸井	外科 ⑪ 古川	外科 ⑫ 古川		4班	内科 ㉑ 久楽	内科 ㉒ 久楽	内科 ㉓ 小沼	内科 ㉔ 小沼		4班						4班									
	5班						5班						5班	内科 ⑤ 星	内科 ⑥ 星	内科 ⑦ 岩田	内科 ⑧ 岩田		5班									
	6班						6班						6班	内科 ⑤ 小沼	内科 ⑥ 小沼	内科 ⑦ 北川	内科 ⑧ 北川		6班									
	7班						7班						7班	外科 ⑤ 神田	外科 ⑥ 神田	外科 ⑦ 佐々木	外科 ⑧ 佐々木		7班									
	8班						8班						8班	外科 ⑤ 糸井	外科 ⑥ 糸井	外科 ⑦ 古川	外科 ⑧ 古川		8班									

5週目					6週目					7週目					8週目																						
月	1時限	2時限	3時限	4時限	月	1時限	2時限	3時限	4時限	月	1時限	2時限	3時限	4時限	月	1時限	2時限	3時限	4時限																		
月	1班	外科動物看護技術学実習 (佐々木、古川、村上) ⑥～⑩				手術、歯科衛生、麻酔監視、周術期管理	1班	外科動物看護技術学実習 (佐々木、古川、村上) ⑭～⑱				手術、歯科衛生、麻酔監視、周術期管理	1班					症例発表	1班	病院動物看護実習 症例発表 ⑳～㉔				全員													
	2班						2班						2班	2班	2班	2班	2班		2班																		
	3班						3班						3班	3班	3班	3班	3班		3班						3班												
	4班						4班						4班	4班	4班	4班	4班		4班						4班												
	5班						5班						5班	5班	5班	5班	5班		5班						5班												
	6班						6班						6班	6班	6班	6班	6班		6班						6班												
	7班						7班						7班	7班	7班	7班	7班		7班						7班												
	8班						8班						8班	8班	8班	8班	8班		8班						8班												
火	1班	外科 ㉑ 神田	外科 ㉒ 神田	外科 ㉓ 佐々木	外科 ㉔ 佐々木	1～4班 病院7日目	1班	外科動物看護技術学実習 (佐々木、古川、村上) ⑩～⑬				術後管理	1班					症例発表	1班	病院動物看護実習 症例発表 ㉕～㉙				全員													
	2班	外科 ㉑ 伊藤	外科 ㉒ 伊藤	外科 ㉓ 古川	外科 ㉔ 古川		2班						術後管理	2班											2班												
	3班	内科 ㉑ 星	内科 ㉒ 星	内科 ㉓ 小沼	内科 ㉔ 小沼		3班						内科 ⑰ 星	内科 ⑱ 星	内科 ⑲ 小沼	内科 ⑳ 小沼	3班											3班									
	4班	内科 ㉑ 岩田	内科 ㉒ 岩田	内科 ㉓ 北川	内科 ㉔ 北川		4班						外科 ⑰ 伊藤	外科 ⑱ 伊藤	外科 ⑲ 佐々木	外科 ⑳ 佐々木	4班											4班									
	5班	外科動物看護技術学実習 (佐々木、古川、村上) ⑩～⑬					術後管理						5班	内科 ⑰ 星	内科 ⑱ 星	内科 ⑲ 小沼	内科 ⑳ 小沼		5～8班 病院4日目						5班	外科 ㉑ 神田	外科 ㉒ 神田	外科 ㉓ 佐々木	外科 ㉔ 佐々木	5班							
	6班												内科 ⑰ 岩田	内科 ⑱ 岩田	内科 ⑲ 北川	内科 ⑳ 北川	6班								外科 ㉑ 伊藤	外科 ㉒ 伊藤	外科 ㉓ 古川	外科 ㉔ 古川	6班					6班			
	7班												外科 ⑰ 伊藤	外科 ⑱ 伊藤	外科 ⑲ 佐々木	外科 ⑳ 佐々木	7班								内科 ㉑ 糸井	内科 ㉒ 糸井	内科 ㉓ 小沼	内科 ㉔ 小沼	7班					7班			
	8班												外科 ⑰ 糸井	外科 ⑱ 糸井	外科 ⑲ 古川	外科 ⑳ 古川	8班								内科 ㉑ 岩田	内科 ㉒ 岩田	内科 ⑲ 北川	内科 ⑳ 北川	8班					8班			
5班	外科 ㉑ 神田					外科 ㉒ 神田		外科 ㉓ 佐々木	外科 ㉔ 佐々木	1～4班 病院8日目	5班	外科動物看護技術学実習 (佐々木、古川、村上) ⑭～⑱				術後管理	5班						手術、歯科衛生、麻酔監視、周術期管理	5班	外科動物看護技術学実習 (佐々木、古川、村上) ⑲～㉓												
6班	外科 ㉑ 糸井					外科 ㉒ 糸井		外科 ㉓ 古川	外科 ㉔ 古川		6班						外科 ㉑ 神田	外科 ㉒ 神田		外科 ㉓ 佐々木	外科 ㉔ 佐々木	6班											6班				
7班	内科 ㉑ 久楽					内科 ㉒ 久楽		内科 ㉓ 小沼	内科 ㉔ 小沼		7班						外科 ㉑ 糸井	外科 ㉒ 糸井		内科 ㉓ 小沼	内科 ㉔ 小沼	7班											7班				
8班	内科 ㉑ 岩田					内科 ㉒ 岩田		内科 ㉓ 北川	内科 ㉔ 北川		8班						内科 ㉑ 岩田	内科 ㉒ 岩田		内科 ㉓ 北川	内科 ㉔ 北川	8班											8班				
5班	外科 ㉑ 神田	外科 ㉒ 神田	外科 ㉓ 佐々木	外科 ㉔ 佐々木	5～8班 病院5日目	5班	外科 ㉑ 神田	外科 ㉒ 神田	外科 ㉓ 佐々木		外科 ㉔ 佐々木						5～8班 病院8日目	5班	外科 ㉑ 神田	外科 ㉒ 神田	外科 ㉓ 佐々木	外科 ㉔ 佐々木		5班													
6班	外科 ㉑ 糸井	外科 ㉒ 糸井	外科 ㉓ 古川	外科 ㉔ 古川		6班	外科 ㉑ 糸井	外科 ㉒ 糸井	外科 ㉓ 古川		外科 ㉔ 古川							6班						6班													
7班	内科 ㉑ 久楽	内科 ㉒ 久楽	内科 ㉓ 小沼	内科 ㉔ 小沼		7班	内科 ㉑ 久楽	内科 ㉒ 久楽	内科 ㉓ 小沼		内科 ㉔ 小沼							7班						7班													
8班	内科 ㉑ 岩田	内科 ㉒ 岩田	内科 ㉓ 北川	内科 ㉔ 北川		8班	内科 ㉑ 岩田	内科 ㉒ 岩田	内科 ㉓ 北川		内科 ㉔ 北川							8班						8班													

愛媛県で体験できるインターンシップ 企業等

企業名	連絡先住所(本社)	連絡先	募集定員	業種
全国「道の駅」	愛媛県内 28か所			
(有)ゆうぼく おかざき牧場	愛媛県西伊予市宇和町下川3364	0894-62-5877		牛肉の肥育管理
サンタ(株)	愛媛県伊予郡松前町大字北川原字塩屋西1205-1	089-984-1511		
愛媛県立とべ動物園	愛媛県伊予郡砥部町上原町240	089-962-6000		
(株)よんやく	愛媛県伊予郡砥部町八倉83番地	089-958-4142	20	商社(医療機器)／福祉・介護／コンサルタント・専門コンサルタント
ヤマキ(株)	愛媛県伊予市米湊1698-6	089-983-1238	10	食品生産技術職
中谷自然農園	愛媛県喜多郡内子町五百木4899	0893-45-0454		自然農法の野菜の栽培管理(農作業・養鶏)
松山総合開発(株)	愛媛県松山市一番町3丁目2-1	089-947-8332	10	外食・レストラン・フードサービス／ブライダル・冠婚葬祭／専門店(服飾雑貨・繊維製品・貴金属)／その他サービス
(有)遠藤青汁	愛媛県松山市古川北4丁目9-25	089-969-1200		青汁関連商品の販売及び商品開発
(株)ピージョイ	愛媛県松山市枝松5丁目8-12	089-945-3401	4	商社(食料品)
(株)ユタカ	愛媛県松山市西垣生町822-2	089-971-5501	5	半導体、航空宇宙、食品、医療業界などに関わる精密加工部品
(株)日本キャリア工業	愛媛県松山市東垣生町980番地5	089-973-6312		制御設計/食品機械特有の細やかなニーズにこたえるための制御技術を体験していただきます。
(株)レデイ薬局	愛媛県松山市南江戸4丁目3番37号	089-927-5000		医薬品／化粧品／その他専門店・小売／医療関連・医療機関
四国メディコム(株)	愛媛県松山市姫原3丁目5番1号			情報処理／コンサルタント・専門コンサルタント／医療機器／医療関連・医療機関
愛媛小林製薬(株)	愛媛県新居浜市黒島1丁目7-24	0897-45-3777	10	繊維／化学
(株)ことぶき精肉店	愛媛県西条市朔日市851-4	0897-55-1129		外食卸の加工を体験
(株)大屋	愛媛県西条市西田甲590番地2	0897-56-8181		専門店(ドラッグストア・医薬品・化粧品・調剤薬局)
(株)ジェイコム	愛媛県西条市水見丙444番地1	0897-57-7555	5	団体・連合会／医療関連・医療機関／その他サービス
(株)いうら	愛媛県東温市南野田410-6	089-964-8880		福祉機器メーカーいうらで開発体験
(有)エビスヤ薬局	愛媛県東温市北方2204	099-964-0441		調剤薬局
(株)あわしま堂	愛媛県八幡浜市保内町川之石1-237-53	0894-36-1707	25	和菓子の生産業務
カワニシグループ	岡山県岡山市北区下石井1-1-3	0120-338-775	10	商社(医薬品)／その他商社／コンサルタント・専門コンサルタント／専門店(メガネ・コンタクト・医療関連)
(株)トーカイ	岐阜市若宮町9-16	0120-101-825	20	リース・レンタル／商社(医療機器)／コンサルタント・専門コンサルタント／メンテナンス・清掃事業
(株)トプロ	香川県高松市今里町2-13-8	087-832-7671	5	調剤薬局の業務体験
あなぶきメディカルケア(株)	香川県高松市磨屋町2-8	087-825-0561	5	医療関連・医療機関
(株)玄米酵素	札幌市北区北12条西1丁目1番地 第一酵素ビル	011-736-2345		外食・レストラン・フードサービス／教育関連
生活協同組合コープえひめ	松山市朝生田町3丁目1番12号	089-931-5202		スーパー・ストア／その他サービス／福祉・介護
(株)セブンスター	松山市東石井2丁目21番16号	089-957-8161	3	開店前の売場作りや加工作業
奥道後国際観光(株)	松山市末町乙267-1	089-977-1111	12	外食・レストラン・フードサービス／レジャー・アミューズメント・パチンコ
アイングループ	大阪市北区角田町8番1号 梅田阪急ビル オフィスタワー25F	06-6363-0011	10	医療関連・医療機関
(株)ラウンドワン	大阪府堺市堺区戎島町4-45-1	0120-224-561		スポーツ・フィットネス・ヘルス関連施設／その他サービス／外食・レストラン・フードサービス／専門店(複合)
(株)コスモス薬品	福岡市博多区博多駅東2丁目10番1号 第一福岡ビル5階	092-433-0663	30	専門店(ドラッグストア・医薬品・化粧品・調剤薬局)
ベルグアース(株)				商社(食料品)／その他商社／食品
住友重機械工業グループ			15	医療用機器・医療関連
日本調剤(株)				調剤薬局
(株)フロンティア				食品
合計(人数把握できるもののみ)			199	
※ 募集定員空白は若干名				
愛媛県に本社または支社があり、本学学生の受け入れを行っている企業の中で、医療、食品、農業等関連の企業のみ。				

実習日誌

【学生】

学校名		氏名	
学部		学科	

【受入企業】

企業・団体名		担当責任者	
--------	--	-------	--

【実習内容】

	実習内容 (学生が記入)	一日の振り返り (学生が記入)
第 日 / (月日)		
第 日 / (月日)		
第 日 / (月日)		

<学生→企業・団体→学校(FAX・メール・郵送のどれかにて提出)>

※企業・団体のご担当者様は必ずこの用紙を岡山理科大学へ FAX かメールしてください。

FAX 0120-49-6210 メールアドレス : internship@office.ous.ac.jp

学校名

氏名

【実習内容】

	実 習 内 容 (学生が記入)	一日の振り返り(学生が記入)
第 日 / (月日)		
第 日 / (月日)		
第 日 / (月日)		
担当者 総 評	(別紙に記入して添付可)	

用紙が不足する場合は各自でコピーしてご使用ください。

<学生→企業・団体→学校(FAX・メール・郵送のどれかにて提出)>

※企業・団体のご担当者様は必ずこの用紙を岡山理科大学へ FAX かメールしてください。

FAX 0120-49-6210 メールアドレス : internship@office.ous.ac.jp

インターンシップ実施評価報告書

参加者	学校名	学部	学科	学年	氏名	
受入期間	平成 年 月 日 ~ 月 日					
出欠状況	出席日数 日 ・ 欠席日数 日					
実施内容						
評価項目			評価(いずれかに○印をつけて下さい) 【A:大変良い B:良い C:普通 D:やや問題がある】			
実習の態度	・出勤状態、挨拶、服装など		A	・ B	・ C	・ D
	・担当者との連絡		A	・ B	・ C	・ D
	・実習の参加態度		A	・ B	・ C	・ D
実習の意欲	・事前の準備		A	・ B	・ C	・ D
	・取り組みへの積極性		A	・ B	・ C	・ D
	・自己評価や反省の有無		A	・ B	・ C	・ D
実習の成果	・仕事の理解度		A	・ B	・ C	・ D
	・業務の習熟度		A	・ B	・ C	・ D
	・実習を通じての成果		A	・ B	・ C	・ D
<ご意見>						
上記の学生の評価を致しました。						
平成 年 月 日						
企業・団体名						
評価者					印	

就職進路支援行事(獣医学科)

	6年次	5年次	4年次	3年次	2年次	1年次
4月		公務員試験対策講座説明会 就職筆記試験対策講座説明会	公務員試験対策講座説明会 就職筆記試験対策講座説明会			就職適性検査(フレッシュマン)
5月	【キャリアガイダンス】 就職個別相談会	【第1回キャリアガイダンス】 インターンシップセミナー 就職個別相談会	【第1回キャリアガイダンス】 インターンシップセミナー 就職個別相談会	【第1回キャリアガイダンス】 インターンシップセミナー	【第1回キャリアガイダンス】 インターンシップセミナー	就職適性検査フォロー講座(フレッシュマン)
6月		インターンシップ合説	インターンシップ合説	インターンシップ合説	インターンシップ合説	【第1回キャリアガイダンス】
7月		夏期休暇活用セミナー	夏期休暇活用セミナー	夏期休暇活用セミナー	夏期休暇活用セミナー	
8月						
9月	教育進路懇談会	【第2回キャリアガイダンス】 教育進路懇談会	【第2回キャリアガイダンス】 教育進路懇談会 就職適性検査	【第2回キャリアガイダンス】 教育進路懇談会	【第2回キャリアガイダンス】 教育進路懇談会	教育進路懇談会
10月		就職シンポジウム(企業のホンネ)	業界セミナー	業界セミナー		
11月	内定者フォローセミナー	就活情報サイト活用セミナー 秋冬インターンシップセミナー	秋冬インターンシップセミナー	秋冬インターンシップセミナー		【第2回キャリアガイダンス】
12月		面接対策セミナー 履歴書対策セミナー	スエツ・マナー・メイクアップセミナー	グループディスカッション体験セミナー		
2018年 1月		【第3回キャリアガイダンス】	【第3回キャリアガイダンス】	【第3回キャリアガイダンス】	【第3回キャリアガイダンス】	
2月		集団模倣面接体験セミナー				
3月		就職活動総まとめ講座				

就職進路支援行事(獣医保健看護学科)

	4年次	3年次	2年次	1年次
4月	就職個別相談会	公務員試験対策講座説明会 就職筆記試験対策講座説明会	公務員試験対策講座説明会 就職筆記試験対策講座説明会	就職適性検査(フレッシュマン)
5月	【キャリアガイダンス】	【第1回キャリアガイダンス】 インターンシップセミナー	【第1回キャリアガイダンス】 インターンシップセミナー	就職適性検査フォロー講座(フレッシュマン)
6月		スーツ・マナー・メイクアップセミナー インターンシップ合説	インターンシップ合説	【第1回キャリアガイダンス】
7月		夏期休暇活用セミナー	夏期休暇活用セミナー	
8月				
9月	教育進路懇談会	【第2回キャリアガイダンス】 教育進路懇談会 就職適性検査	【第2回キャリアガイダンス】 教育進路懇談会	教育進路懇談会
10月		就職シンポジウム(企業のホンネ)		
11月	内定者フォローセミナー	秋冬インターンシップセミナー 就活情報サイト活用セミナー	秋冬インターンシップセミナー	【第2回キャリアガイダンス】
12月		業界セミナー 面接対策セミナー 履歴書対策セミナー		
2018年 1月		【第3回キャリアガイダンス】 Web試験対策セミナー	【第3回キャリアガイダンス】	
2月		集団模擬面接体験セミナー		
3月		就職活動総まとめ講座		1年次修学相談会

氏名（本名）	備考	ポジション	職務内容	海外滞在年数
吉川 泰弘	西独ギーセン大学ウイルス研究所 (S52.6~S54.12)	厚生技官、フンボルト国費留学生	学部学生、大学院生の教育・研究指導	約2.5年
菅又 昌実	米国国立衛生研究所篤志研究員 (S63.7~H1.6)、同滞任研究員 (H1.7~H2.7)	篤志研究員、滞任研究員	学部学生、大学院生、若手研究者の教育・研究指導	約2年
榎林 陽一	Bayer plc. (London, UK) Stoke Court Research (London), Senior Scientist (H2.10~H4.3)	首席研究員	若手研究員への研究指導、創薬開発に関する指導	約1.5年、帰国後もコーディネーターとして交流
俵 修一	米国カリフォルニア大学アーバイン校医学部客員研究員 (H6.10~H7.9) アステラス米国研究所 (H23.4~H25.9)	客員研究員、社長（海外研究担当）、研究所長	若手研究員への実験、研究指導、アステラス米国研究所の海外研究担当や研究所長として、部下を指導	約3.5年
尾崎 博	米国ネバダ州立大学医学部客員教授 (H1.10~H3.9)	客員教授	学部学生、大学院生、若手研究者の教育・研究指導	約2年
水野 理介	ニューヨーク医科大学ポストドクトルフェロー (H7.7~H9.4)	ポストドク	学部学生、大学院生の教育・研究指導	約2年
柴原 壽行	国際貢献：中華人民共和国青海省畜牧技術科学院の招聘による同学院訪問及び講演 (2011)、広東省医学実験動物センター並びに省内諸実験動物施設からの要請による実験動物技術指導 (2001)、日本実験動物学会海外派遣専門調査員としてスリランカ・ミャンマー・タイ・ラオス4カ国の視察・調査 (2000)、国際協力事業団 (JICA) 短期専門家として第三国研修講師としてザンビア大学に出張し、講義・実習を担当 (2000)、国動協派遣の文部省短期専門家として「米国における実験動物の寄生虫汚染の実態と駆除対策に関する調査に従事 (1999)、WHOの要請を受け短期専門家としてラオス国立疫学研究所のラボ立ち上げを指導 (1992)	JICA短期専門家	実験動物学、熱帯性家畜寄生虫病の講義および技術指導等	*1992-2011にかけて、海外の獣医師および医師を対象に講義および技術指導を行っている経験
江藤 真澄	米国バージニア大学 (H10.4~H18.1最終准教授)、米国トマスジェファソン大学 (H18.2~現在テニユア)	テニユア准教授	医学部生に対する医学生物学、細胞情報伝達学、グラント作成ワークショップ科目等の担当、トマスジェファソン大学医学部カリキュラム委員として、米国医学部生の教育、研究指導	約19年
九郎丸 正道	加国ゲルフ大学獣医学部客員研究員 (S63.4~H1.4)、米国南イリノイ大学医学部客員研究員 (H1.4~H1.9)	客員研究員	学部学生、大学院生の教育・研究指導	約1.5年
西木 禎一	米国デューク大学医学センター研究員 (H11.8~H14.7)、米国デューク大学医学センター上級研究員 (H14.8~H17.10)、	研究員、上級研究員	学部学生、大学院生の教育・研究指導	約6年
邊見 弘明	米国ロックフェラー大学ポストドクトルフェロー (H16.4~H18.3)、米国ロックフェラー大学ポストドクトルアソシエイト (H18.4~H19.1)	ポストドク、ポストドクトルアソシエイト	学部学生、大学院生の教育・研究指導	約3年
柳井 徳磨	アルゼンチンラプラタ大学JICA短期専門家 (H5.2~H5.3)、中国実験動物学JICA短期専門家 (H8.5~H8.6)、米国ハーバード大学医学部客員准教授 (H9.7~H11.7)、米国ブラウン大学客員研究員 (H11.1~H13.1)	客員教授、客員研究員、アジア保全医学会理事、	獣医病理学、実験動物学に関する研究・技術指導、学部学生、大学院生の教育・研究指導	約3年
門平 睦代	米国エルマイラ大学卒業 (S60.6)、米国カリフォルニア大学修士課程修了 (S61.9)、加国ゲルフ大学博士課程修了 (H6.11)、FAO (国際連合食糧農業機関) 専門家 (S62.4~H2.7)、JICA (国際協力機構) 専門家 (H7.4~H11.5)	アメリカの大学学部卒業、修士修了、カナダで博士修了	ザンビア大学にて獣疫学の講義を担当。	約10年
伊豆 弥生	米国南フロリダ大学医学部博士研究員 (H20.7~H22.4)、米国ペンシルバニア州立ハーシーSミルトン大学医学部博士研究員 (H22.5~H25.3)、米国南フロリダ大学医学部研究員 (H25.4~H26.4)	ポストドク、シニア研究員	学部学生、大学院生の教育・研究指導	約6年
片山 圭一	米国シンシナティ小児病院医療センター研究員 (H21.7~H25.2)、	研究員	学部学生、大学院生の教育・研究指導	約3.5年
北村 真一	韓国国立麗水大学校招聘教授 (H15.9~H18.8)	招聘教授	Ecology of Aquatic Pathogens、Experimental Analysis、Gene Technology、Medical Application of Molecular Biology、Clinical Biochemistry、Diagnosis of Aquatic Animal Diseaseを担当	約3年
竹谷 浩介	加国カルガリー大学医学部博士研究員 (H17.11~H22.3)	ポストドク研究員	学部学生、大学院生の教育・研究指導	約4.5年
渡辺 俊平	オーストラリア連邦科学産業研究機構 (CSIRO) 客員研究員 (H26.8~H28.7)	客員研究員	学部学生、大学院生の教育・研究指導	約2年
依田 成玄	米国ダナファーマーがん研究所 (H20.6~H29.1)	研究員	学部学生、大学院生の教育・研究指導	約8.5年

海外経験を有する教員

氏名（本名）	備考	ポジション	職務内容	海外滞在年数
中嶋 幸生	米国フロリダ大学獣医学部臨床医訪問プログラム（H19.12）、米国バーバラ・アン・カルノマスがん研究センター博士研究員（H25.4～H28.12）、米国ミシガン小動物外科医療センター訪問研修医（H25.7～H28.12）	ポスドク研究員	学部学生、大学院生の教育・研究指導、手術補助	約3.5年
三井 一鬼	米国バドュー大学修士課程修了（H20.12）	博士課程在籍、ティーチングアシスタント	病理研修医兼大学院生（TA）として学部生指導3年、インディアナ州動物疾病診断検査所（病理解剖及び組織病理検査3年）	約3年
向田 昌司	米国アイオア大学医学部博士研究員（H24.4～現在）	ポスドク研究員	学部学生、大学院生の教育・研究指導	5年以上
太田 奈保美	米国カンザス州立大学獣医学部修士課程修了（H25.12）、米国カンザス州立大学獣医学部博士課程（H25.1～H26.5）、米国テキサスA&M大学獣医生命学部博士課程（H26.6～現在）	修士課程在籍、博士課程在籍	学部学生、大学院生の教育・研究指導	5年以上
小林 正人	米国テキサス大学サウスウェスタンメディカルセンタージュニアリサーチャー（H27.7～H28.3）、博士研究員（H28.4～現在）	博士研究員	学部学生、大学院生の教育・研究指導	2年以上

生命倫理、科学倫理、動物福祉に基づいた行動規範を身に付けるための教育課程

科目名	フレッシュマンセミナー	動物福祉論 (新設)	生命倫理学	科学倫理学 (新設)	獣医キャリアアップ研修
開講期	1年① (第6回)	1年①	1年②	4年①	5年② (第1回)
概要	大学の学びへの適応と、学生としての基本的なリテラシーや集団におけるマナー等を学ぶ中で、特に、自律的に研究を遂行していく上での心構えを学修する。	ヒトと関わる種々の動物、実験動物、伴侶動物、産業動物、展示動物、野生動物などの特性を理解し、これらの動物と接する際に必要な動物福祉を学修する。	「動物福祉論」で学んだ動物福祉に関する行動規範を基盤として、獣医師として、獣医療を行うにあたり、生命倫理に基づいて行動するための規範を学修する。	科学実験を行うにあたり、研究者として守るべき倫理及び研究成果の発表に関して順守すべき倫理と適正な利用についての倫理を学修する	これまでの講義および実習、さらに総合参加型臨床実習で習得した獣医師として働くための基本的な知識と技術をさらに発展させ、自分自身が大学卒業後に目指す職域において、実際の業務を体験することによって、より実践的で高度な知識・技術を身に付け、即戦力に近い獣医師として就労するための準備をすることを目的とする。 様々な獣医師の職場において 2 週間以上の体験実習を行う。
講義内容	(第6回) 大学の戦略研究や付属研究所、研究施設などを紹介することで、本学の研究力を理解する。また研究倫理教育も実施して、研究者の仲間入りであることを意識させる。 (担当：各研究分野長)	動物福祉の概念 動物福祉の評価 野生動物の福祉 展示動物、使役動物の福祉 実験動物の福祉 福祉産業動物の福祉 伴侶動物の福祉 多様な動物種の動物福祉 (振り返り)	生命倫理学入門 西洋と日本の動物保護法 獣医師の倫理学 動物実験に関する生命倫理 伴侶動物の獣医療倫理 補助犬と獣医倫理 野生動物と展示動物の獣医倫理 生命倫理と獣医倫理 (振り返り)	科学倫理の問題 論文作成：ねつ造、改ざん、盗用他 研究評価と利益相反 日本学術会議の「研究成果を巡る不正行為を防止するための検討」および文科省の研究倫理のガイドラインの解説 デュアルユース (民生、軍事利用) トランスサイエンス問題 CITI 科学倫理試験へのトライアル トライアル評価、検討 (振り返り)	(第1回) オリエンテーション 獣医キャリアアップ研修開始前にオリエンテーションとして学生が希望する職種の実習先を紹介し、実習受け入れ先と、実習期間、実習内容等の調整を行う。獣医倫理については、フレッシュマンセミナー、動物福祉論、生命倫理、科学倫理で学習したが、本研修を受けるにあたり、獣医倫理について再度学修する。
行動規範	研究に携わる上で基本となる倫理性、公共性を重視し、自ら厳正に律する行動をとることを自覚する。	動物実験を行う際の、実験動物に対する3R (削減、代替、洗練) の原則順守、産業動物に対する5つの自由の保障、及び「動物の愛護と管理」の法律の順守を動物福祉に関する行動規範とする。	獣医師として獣医療行為、動物実験、飼育管理、野生動物保全などで種々の動物に接する際に、生命倫理を遵守し、動物の生命を尊重し、動物と共存する持続可能な社会を構築することを行動規範とする。	科学実験を行うにあたり、実験の科学性、客観性、公明性を維持し、社会から信頼され、社会に貢献する研究成果を提示できるように、日本学術会議の「研究成果を巡る不正行為を防止するための検討」および文科省の研究倫理のガイドラインの解説の順守を行動規範とする。	獣医師として働くことを前提とした職種ごとの実習に参加するにあたって、これまで学修した生命倫理、動物福祉、科学倫理に基づき実践の場において自覚をもって行動することができ

動物関連キャリア概論(教員配置)

【講義】

1年生・第1クォーター 水曜日・2限目(10:55~12:25)			
第1週	吉川 泰弘	獣医及び獣医関連専門家(VPP)の職域の多様性と現状、展望について概要を紹介する。 国のミッションを受けてスタートした本獣医学部の立場から次世代の獣医師が果たす社会の役割について、国内外の動きを合わせて紹介する。	
第2週	小野 文子	獣医関連専門家(VPP)の職域について紹介する。	
第3週	北川 均	伴侶動物の老化疾患をヒトのモデルと考え、両者に有効な予防・治療法開発を目指すのが、トランスレーショナル・メディシンである。この新しい小動物臨床について紹介する。	
第4週	菅又 昌実 手島 玲子 黒木 俊郎	公衆衛生分野における獣医師と獣医関連専門家(VPP)の役割について紹介する。	
第5週	飯田 貴次 山田 裕	第3週の午後(金曜日)に1コマ講義畜産水産における獣医師と獣医関連専門家(VPP)の役割について紹介する。	
	右表(A欄)	グループに分かれて獣医師及びVPPが実際に活動している現場を訪問し、現場体験学習をする。(右表A欄参照)	
第6週	榎林 陽一 俵 修一	創薬、ライフサイエンス分野における獣医師と獣医関連専門家(VPP)の役割について紹介する。	
第7週	右表(B欄)	グループに分かれて獣医師及びVPPが実際に活動している現場を訪問し、現場体験学習をする。(右表B欄参照)	
第8週	吉川 泰弘 小野 文子 北川 均 榎林 陽一 俵 修一 飯田 貴次 山田 裕 柴原 壽行	尾崎 博 水野 理介 宇根 有美 伊豆 弥生 片山 圭一 北村 真一 畑 明寿	各グループがそれぞれ体験した内容を分析し、発表を通じて他のグループに情報伝達する。

【現場体験学習】

グループ	学生数	週	曜日	出発	班	学生数			引率教員	施設名	区分	区分	郵便番号	住所	交通	距離(km)	時間	備考			
						獣医	保健看護	合計													
A	3グループ	67	月曜日	13:15	9班	4	4	8	宇根 有美・畑 明寿	のまうまハイランド	牧場	臨床獣医	794-0082	愛媛県今治市野間甲8	現地集合	3.7	8分				
					10班	6	3	9													
					11班	7	0	7	俵 修一・小野 文子	新開牧場	牧場	臨床獣医	794-0082	愛媛県今治市野間甲958	現地集合	4.1	9分				
					12班	4	6	10													
	1グループ	67	水曜日	10:55	13班	12	5	17	柴原 壽行・北村 真一	愛媛県 今治保健所	保健所	公共獣医事	794-8502	愛媛県今治市旭町1-4-9	現地集合	2.9	6分				
					5週	火曜日	13:15	14班	14	2	16	宇根 有美・伊豆 弥生 尾崎 博	愛媛県 食肉衛生検査センター	食肉検査センター	公共獣医事	795-0046	愛媛県大洲市春賀甲410	マイクロバス(学校)	105.6	1時間40分	
								1班	10	4	14	小野 文子・畑 明寿	学校法人加計学園 生命動物教育センター	研究センター	ライフサイエンス研究	700-0005	岡山県岡山市北区理大町1-1	マイクロバス(レンタカー)	145	2時間8分	
									2班	13	5	18	宇根 有美・柴原 壽行	株式会社 なかやま牧場	牧場	臨床獣医	720-2413	広島県福山市駅家町法成寺1575-16	マイクロバス(レンタカー)	93.1	1時間33分
	2グループ	66	第6週	月曜日	13:15	3班	13	4	17	飯田 貴次・北村 真一	愛媛大学 南予水産研究センター	研究センター	ライフサイエンス研究	798-4292	愛媛県南宇和郡愛南町船越1289-1	マイクロバス(学校)	190.3	3時間37分			
						4班	6	12	18	榎林 陽一・伊豆 弥生	株式会社 山田みつばち農園	養蜂場	ライフサイエンス研究	708-0365	岡山県苫田郡鏡野町塚谷785-1	マイクロバス(レンタカー)	209.7	2時間55分			
						5班	4	8	12	俵 修一・小野 文子	のまうまハイランド	牧場	臨床獣医	794-0082	愛媛県今治市野間甲8	現地集合	3.7	8分			
						6班	16	3	19												
7班	15	2	17	伊豆 弥生・畑 明寿	本宮牧場	牧場	臨床獣医	799-1303	愛媛県西条市河原津新田甲75	マイクロバス(レンタカー)	17.4	35分									
8班	16	2	18	飯田 貴次・北村 真一	有限会社 宇佐美牧場	牧場	臨床獣医	799-1372	愛媛県西条市吉田145	マイクロバス(学校)	23.7	36分									
合計						140	60	200													
B	3グループ	67	第6週	火曜日	13:15	9班	1	3	4	宇根 有美・片山 圭一	愛媛県 保健福祉部健康衛生局薬務衛生課	愛媛県庁	公共獣医事	790-0001	愛媛県松山市一番町4-4-2	マイクロバス(学校)	41.7	1時間24分			
						3班	1	4	愛媛県 農林水産部農業振興局畜産課		愛媛県庁	公共獣医事									
						10班	6	3	9	榎林 陽一・尾崎 博	愛媛県 衛生環境研究所	研究所	ライフサイエンス研究	790-0003	愛媛県松山市三番町8-234		43.3	1時間27分			
						11班	7	0	7	俵 修一・畑 明寿	愛媛県 動物愛護センター	動物愛護センター	公共獣医事	791-0133	愛媛県松山市東川町乙44-7	ハイエース(学校)	25.3	51分			
	1グループ	67	水曜日	13:15	12班	4	6	10	尾崎 博・柴原 壽行	愛媛県 中予家畜保健衛生所・家畜病性鑑定所	家畜保健衛生所	公共獣医事	791-3133	愛媛県伊予郡松前町昌農内641	ハイエース(学校)	66.4	1時間13分				
					13班	12	5	17	飯田 貴次・北村 真一	愛媛大学 沿岸環境科学研究センター	研究センター	ライフサイエンス研究	790-8577	愛媛県松山市文京町2-5	マイクロバス(学校)	42	1時間24分				
					14班	14	2	16	宇根 有美・伊豆 弥生	松山市保健所	松山市保健所	公共獣医事	790-0813	愛媛県松山市萱町六丁目30-5	マイクロバス(レンタカー)	42.5	1時間25分				
					1班	10	4	14	榎林 陽一・畑 明寿	愛媛県 中予保健所	保健所	公共獣医事	790-8502	愛媛県松山市北持田132	マイクロバス(学校)	41.3	1時間23分				
	2グループ	66	第7週	月曜日	13:15	2班	13	5	18	尾崎 博・北村 真一	倉敷芸術科学大学 生命科学部動物生命科学科 教育動物病院	動物病院	臨床獣医	712-8505	岡山県倉敷市連島町西之浦2640番地	マイクロバス(レンタカー)	119.4	1時間48分			
						3班	13	4	17	柴原 壽行・伊豆 弥生	愛媛県立とべ動物園	動物園	臨床獣医	791-2191	愛媛県伊予郡砥部町上原町240	マイクロバス(レンタカー)	65.5	1時間11分			
						4班	6	12	18	俵 修一・小野 文子	愛媛県 東予家畜保健衛生所 今治支所	家畜保健衛生所	公共獣医事	794-0026	愛媛県今治市別宮町9-1-50	現地集合	1.7	4分			
						5班	4	8	12	榎林 陽一・俵 修一	株式会社 池田動物園	動物園	臨床獣医	700-0015	岡山県岡山市北区京山2-5-1	マイクロバス(レンタカー)	142.4	2時間2分			
合計	140	60	200	水曜日	10:55	6班	16	3	19	小野 文子・畑 明寿	岡山理科大学専門学校 動物病院	動物病院	臨床獣医	700-0003	岡山県岡山市北区半田町8-3	マイクロバス(レンタカー)	144.8	2時間7分			
						7班	15	2	17	尾崎 博・伊豆 弥生	愛媛県 畜産研究センター	研究センター	ライフサイエンス研究	797-1211	愛媛県西予市野村町阿下7-156	マイクロバス(学校)	122.4	2時間23分			
						8班	16	2	18	飯田 貴次・北村 真一	株式会社南予ビージョイ	養殖場	臨床獣医	798-0087	愛媛県宇和島市坂下津甲381番地91	マイクロバス(レンタカー)	143.8	2時間34分			
						合計						140	60	200							

動物衛生学実習(教員配置)

獣医学部獣医学科 1組(70名)・2組(70名) 合計140名

【担当教員】

足立 吉数	中村 翔
前多 敬一郎	北村 真一
柴原 壽行	佐野 芳
菅又 昌実	太田 奈保美
吉川 泰弘	松山 秀一
畑 明寿	佐藤 周史

【実習】

		3年生・第2クォーター・3~5時限		授業内容	
1組	2組				
1	第5週	月曜日	右表A欄	1	1. 全体ガイダンス: OIEのコードに書かれているように獣医師は陸生動物の家畜、家禽、ミツバチ、水棲動物の魚介類の健康管理の責任を持つ。家畜や家禽の飼育施設、養殖場や養蜂場など様々な場所における望ましい環境を維持するには環境因子等について望ましい条件を設定しなければならない。現場で採材し、基本的な因子の測定の実技の概要を説明する。(共同)
				2	2. 馬の主要な感染症について説明する。野間馬飼育施設を訪問(移動往復30分)、野間馬の飼育様式の特徴を紹介する。展示動物・市の指定文化財である野間馬の飼育環境衛生管理の分析に必要な材料の採取。分析法について検討する。九州産の購入した馬肉の安全性評価方法について検討する。(共同)
				3	3. 野間馬の飼育環境で採取した材料の分析(水質、飼料:カビ毒の有無、空気等)。購入した馬肉の安全性評価(住肉胞子虫などの観察、組織標本を含む)。(共同)
2	第1週	火曜日	右表B欄	4	4. 養鶏場を訪問し(移動往復1時間以内)飼育の快適性、配合飼料と栄養、衛生管理(消毒、空調など)、感染症への対応(ワクチンプログラム)方法、インフルエンザ等の発生時の危機管理対応などの説明を受ける。
				5	5. オープンケージによる採卵鶏の飼育場、及びウインドレス体制によるコンパートメンタリゼーションの現場を訪問し、感染症防御体制の実践方法を理解する。
				6	6. 鶏卵、排水、糞、飼料などの分析材料を採取し、分析用に保管する。
3	第2週	日曜日	右表C欄	7	7. 8. グループ1: 養蜂場を訪問し、ミツバチの飼育様式の特徴を学修する。巣の周辺の残渣、蜂蜜、ロイヤルゼリー、プロポリス等の安全性評価に必要な材料の採取。採取材料の保管。(共同)
				8	7. 8. グループ2: 養殖場を訪問し、養殖魚の飼育様式の特徴を学修する。養殖魚の飼育環境衛生管理に必要な材料の採取法、分析法について検討し、検査に必要な材料を採取し、保管する。
				9	9. 養鶏場、養蜂場、養殖場から採取し、保管した材料の分析の準備および細菌等の増殖(24時間)検査は、検体の培養を開始。(共同)
4	第3週	火曜日	右表D欄	10	10. 養鶏場でえられた材料の分析、鶏卵および糞(細菌検査)、排水・水質検査(水質検査)、配合飼料(カビ毒検査)、鶏舎の排気(アンモニア濃度他)など。
				11	11. 養蜂場でえられた材料の分析。巣周辺の新鮮死骸(ダニ等の外部寄生虫)、巣周辺の残渣、蜂蜜、ロイヤルゼリー、プロポリスなどは希釈後の遠心残渣の塗抹標本、細菌培養検査。
				12	12. 養殖場で得られた材料については、養殖生け簀の水質検査(顕微鏡観察を含む)、魚類の寄生虫検査(内蔵:アニサキス、筋肉:クドアなど)、腸内細菌培養検査など。(共同)
5	第4週	日曜日	右表E欄	13	13. 肉牛施設を訪問し、大規模飼育における疾病統御、衛生管理、動物福祉などの飼育方式の説明を受けたのち、飼育環境検査のための採材を行う。また、JGAPや農場HACCPなどに取り組んでいる場合には、その実践について学修する。肉牛飼育環境検査材料として、飼料、排水、堆肥(ガス及び発酵温度)などを採取、また牛肉加工ブロックを入手し表面細菌の検査のための材料を保管する。
				14	14. 乳牛飼育牧場を訪問し、経営、衛生管理(消毒)、疾病統御(ワクチン)、飼育環境(飼料、排水、堆肥など)、および動物福祉の実情の説明を受ける。肉牛と同様に飼育環境材料を採取し保管する。また原乳が入手できれば乳の検査(乳脂肪、細胞数、細菌検査)を行う。(共同)
				15	15. 家畜伝染病予防法及びOIEのリストのA、Bに分類される牛の感染症について説明する。肉牛飼育施設、乳牛飼育施設で採取し、保管した材料の分析の準備および細菌等の増殖(24時間)検査は、検体の培養を開始。(共同)
6	第5週	火曜日	右表F欄	16	16. 17. 18. 肉牛飼育場でえられた材料の分析。および(細菌検査)、排水・水質検査(水質検査)、配合飼料(カビ毒検査)、牛舎、堆肥の排気(アンモニア濃度他)など。
				17	16. 17. 18. 乳牛飼育場でえられた材料の分析。飼育環境因子(飼料、排水、堆肥など)及び原乳の検査(乳脂肪、細胞数、細菌検査)を行う。(共同)
				18	16. 17. 18. 肉牛飼育場でえられた材料の分析。および(細菌検査)、排水・水質検査(水質検査)、配合飼料(カビ毒検査)、牛舎、堆肥の排気(アンモニア濃度他)など。
7	第6週	月曜日	右表G欄	19	19. 20. 21. 家畜伝染病予防法及びOIEリストのA、Bに分類されるブタの感染症について説明する。ブタの飼育施設を訪問し、肥育豚、繁殖豚の予防衛生学(消毒、空気調整、衛生管理)、感染症防御(ワクチン等)、及びバイオセキュリティ体制などを学修する。(共同)
				20	20. 21. 野間馬の衛生管理、養鶏施設の衛生管理、養蜂場、養殖場、肉牛飼育施設、乳牛飼育施設、ブタ飼育施設の衛生管理の共通性、及び個別性について、検査データ等を考慮して総合討論・レポート作成を行う。動物衛生管理を総合的に理解することは極めて重要であり、全体の測定結果から総合討論を行い体験の意義をまとめる。
				21	22. 23. 野間馬の衛生管理、養鶏施設の衛生管理、養蜂場、養殖場、肉牛飼育施設、乳牛飼育施設、ブタ飼育施設の衛生管理の共通性、及び個別性について、検査データ等を考慮して総合討論・レポート作成を行う。動物衛生管理を総合的に理解することは極めて重要であり、全体の測定結果から総合討論を行い体験の意義をまとめる。
8	第7週	火曜日	右表H欄	22	22. 23. 野間馬の衛生管理、養鶏施設の衛生管理、養蜂場、養殖場、肉牛飼育施設、乳牛飼育施設、ブタ飼育施設の衛生管理の共通性、及び個別性について、検査データ等を考慮して総合討論・レポート作成を行う。動物衛生管理を総合的に理解することは極めて重要であり、全体の測定結果から総合討論を行い体験の意義をまとめる。
				23	農場HACCPやJGAPの考え方、現場の対応と課題等について議論し、レポートにまとめる。(共同)

【学外見学・採材】

◇野間馬飼育施設

日程	1組	学生数	2組	学生数	引率教員	施設名	郵便番号	住所	交通	距離(km)	時間	備考
A 1 3時限目: 13:15~14:45 2 4時限目: (1)15:00学校出発 (2)のまうまハイランド見学 (3)16:30学校到着 3 5時限目: 16:45~18:15	1-1	23	2-1	23	足立 吉数 前多 敬一郎	のまうまハイランド	794-0082	愛媛県今治市野間甲8	マイク ロバス	3.8	8分	
	1-2	23	2-2	23	柴原 壽行 菅又 昌実							
	1-3	24	2-3	24	吉川 泰弘 畑 明寿							
合計	70	+	70	=	140							

◇養鶏場(富田養鶏)

日程	1組	学生数	2組	学生数	引率教員	施設名	郵便番号	住所	交通	距離(km)	時間	備考
B ◇1・2班と3・4班で2つの農場をローテーションする。 (1)学校出発:13:15 (2)中寺農場: 13:45~15:15(90分) [移動] (3)河原津農場: 16:00~17:30(90分) [移動] (4)学校到着:18:15	1-1	18	2-1	18	中村 翔 北村 真一	富田養鶏 中寺農場 (オープン)	794-0840	愛媛県今治市中寺170-2	マイク ロバス	5.4	13分	
	1-2	17	2-2	17	佐野 芳 太田 奈保美							
	1-3	18	2-3	18	松山 秀一 佐藤 周史	富田養鶏 河原津農場 (ウインドレス)	799-1304	愛媛県西条市河原津新田48-5	マイク ロバス	17.1	29分	
	1-4	17	2-4	17	足立 吉数 前多 敬一郎							
合計	70	+	70	=	140							

◇養蜂場(山田養蜂場みつばち農園)・養殖場(南予ビージョイ)

日程	1組	学生数	2組	学生数	引率教員	施設名	郵便番号	住所	交通	距離(km)	時間	備考
C 1 学校出発:9:00 2 現地到着:12:00 3 実習: (1)12:30~14:00(90分) (2)14:15~15:45(90分) 4 現地出発:15:50 5 学校到着:19:00	1-1	18	2-1	18	柴原 壽行 菅又 昌実	株式会社山田養蜂場 みつばち農園	708-0393	岡山県苫田軍鏡野町市場194	大型 バス	209.7	2時間 55分	
	1-2	17	2-2	17	吉川 泰弘 畑 明寿							
	1-3	18	2-3	18	中村 翔 北村 真一	株式会社南予ビージョイ	798-0087	愛媛県宇和島市坂下津甲381-91	大型 バス	143.0	2時間 11分	
	1-4	17	2-4	17	佐野 芳 太田 奈保美							
合計	70	+	70	=	140							

◇肉牛農場(新開牧場)・乳牛農場(宇佐美牧場)

日程	1組	学生数	2組	学生数	引率教員	施設名	郵便番号	住所	交通	距離(km)	時間	備考
D ◇1・2班と3・4班、午前と午後2つの農場をローテーションする。 (1)学校出発:9:00 (2)新開牧場:AM 10:00~11:30(90分) [学校で昼食] (3)宇佐美牧場: 13:30~15:00(90分) [移動] (4)学校到着:16:00	1-1	18	2-1	18	松山 秀一 佐藤 周史	新開牧場	794-0082	愛媛県今治市野間甲958	マイク ロバス	3.89	11分	
	1-2	17	2-2	17	足立 吉数 前多 敬一郎							
	1-3	18	2-3	18	柴原 壽行 菅又 昌実	宇佐美牧場	799-1372	愛媛県西条市吉田145	マイク ロバス	23.3	33分	
	1-4	17	2-4	17	吉川 泰弘 畑 明寿							
合計	70	+	70	=	140							

◇ブタの飼育施設(菊間仙高牧場)

日程	1組	学生数	2組	学生数	引率教員	施設名	郵便番号	住所	交通	距離(km)	時間	備考
E 1 学校出発:12:50 2 現地到着:13:20 3 実習: (1)JAおちいまばり菊間支店 13:30~15:30(120分) [移動] (2)菊間仙高牧場 16:00~17:00(60分) 4 現地出発:17:10 5 学校到着:18:00	1-1	35	2-1	35	中村 翔 北村 真一 佐野 芳	菊間仙高牧場	799-2305	愛媛県今治市菊間町松尾1188-8	マイク ロバス	22.4 JAおちいまばり 菊間仙高 牧場	40分	
	1-2	35	2-2	35	太田 奈保美 松山 秀一 佐藤 周史	JAおちいまばり菊間支店	799-2303	愛媛県今治市菊間町浜1141	マイク ロバス	JAおちいまばり まで15km	JAおちいまばり まで24分	
合計	70	+	70	=	140							

実習協力同意書 2 枚を添付した。

施設名	郵便番号	住所	実習名 (学科学年)
新開牧場	794-8582	愛媛県今治市野間甲 958	産業動物臨床実習 (獣医学科 4 年) 獣医繁殖学実習 (獣医学科 4 年)
宇佐美牧場	799-1372	愛媛県西条市吉田 145	産業動物看護実習 (獣医保健看護学科 2 年) 人工授精学実習 (獣医保健看護学科 4 年)

J_CD	実習室名称	建物名	階	収容人数	授業科目	対象学科	開講期	単位数	学期	備考1	備考2
01	基礎実習室1	獣医学部棟	3F	90	生命科学実習	獣医学科・獣医保健看護学科	1①	1	①	月曜・火曜・水曜・木曜・金曜	月3-5・火3-5・水3-5・木4-5・金5
01	A0231				獣医生化学実習	獣医学科	1②	1	②	月曜・火曜・水曜・木曜	月3-5・火3-5・水3-5・木3-5
					動物形態機能学実習	獣医保健看護学科	1③	1	③	月曜	月3-5
					獣医組織学実習	獣医学科	1③	1	③	水曜・木曜	水3-5・木3-5
					獣医生理学実習	獣医学科	1④	1	④	水曜・木曜	水3-5・木3-5
02	基礎実習室2	獣医学部棟	3F	90	動物薬理学実習	獣医保健看護学科	2①	1	①	火曜・水曜・木曜	火3-5・水3-5・木3-5
02	A0232				獣医実験動物学実習	獣医学科	2②	1	②	月曜・火曜	月3-5・火3-5
					獣医薬理学実習	獣医学科	2②	1	②	水曜・木曜	水3-5・木3-5
					獣医免疫学実習	獣医学科	2③	1	③	月曜・火曜	月3-5・火3-5
					総合臨床検査特別実習	獣医学科	5③	1	③	水曜	水3-5
					動物毒性学実習	獣医保健看護学科	2④	1	④	月曜	月3-5
					獣医毒性学実習	獣医学科	2④	1	④	火曜・水曜	火3-5・水3-5
03	獣医実習室1	獣医学部棟	4F	90	獣医微生物学実習	獣医学科	2①	2	①	月曜・火曜・水曜・木曜	月3-5・火3-5・水3-5・木3-5
	A0241				動物衛生学実習	獣医学科	3②	1	②	月曜・火曜	月3-5・火3-5
					魚病学実習	獣医学科	3②	1	②	水曜・木曜	水3-5・木3-5
04	獣医実習室2	獣医学部棟	4F	90	獣医病理学実習	獣医学科	3③	1	③	月曜・火曜	月3-5・火3-5・水3-5・木3-5
	A0242				動物臨床検査学実習 I	獣医保健看護学科	3①	2	①	木曜	木3-5
					動物臨床検査学実習 II	獣医保健看護学科	3②	2	②	金曜	金3-5
					医動物学実習	獣医学科	2③	1	③	火曜・水曜	火3-5・水3-5
					ライフサイエンス特別実習	獣医学科	5③	1	③	金曜	金3-5
05	獣医実習室3	獣医学部棟	4F	90	獣医公衆衛生学実習	獣医学科	2④	1	④	水曜・木曜	水3-5・木3-5
	A0243				実験動物看護実習	獣医保健看護学科	4②	1	②	水曜	水3-5
					実験動物学実習 II	獣医保健看護学科	4②	1	②	木曜	木3-5
					実験動物学実習 I	獣医保健看護学科	2③	1	③	火曜	火3-5
					生化学実習	獣医保健看護学科	4③	1	③	水曜・金曜	水3-5・金3-5
06	内科実習室	獣医学教育病院	4F	96	小動物内科学実習	獣医学科	4②	0.5	②	水曜・金曜	水3-5・金3-5
					小動物内科学実習	獣医学科	3③	1	③	木曜・金曜	木3-5・金3-5
07	外科実習室	獣医学教育病院	4F	96	小動物外科科学実習	獣医学科	3④	1.5	④	月曜・木曜	月3-5・木3-5
					獣医画像診断学実習	獣医学科	3④	1	④	火曜・金曜	火1-3・金3-5
08	看護実習室	獣医学教育病院	4F	70	臨床動物看護技術学実習	獣医保健看護学科	3②	1	②	月曜	月3-5
					動物看護技術学実習 I	獣医保健看護学科	2②	1	②	火曜	火3-5
					動物看護技術学実習 II	獣医保健看護学科	3③	1	③	月曜・火曜	月3-5・火3-5
					動物看護技術学実習 III	獣医保健看護学科	2③	1	③	水曜	水3-5
					外科動物看護技術学実習	獣医保健看護学科	3④	1	④	月曜・火曜・水曜	月1-5・火1-2・水1-5(4・8週)(5・6週は1-2)
					人工授精学実習	獣医保健看護学科	4①	1	①	火曜・木曜	火3-5・木3-5
					産業動物臨床実習	獣医学科	4②	2	②	月曜・火曜・水曜・木曜	月3-5・火3-5・水3-5・木3-5
					産業動物繁殖学実習	獣医学科	4③	1	③	月曜・火曜	月3-5・火3-5
					産業動物看護学実習	獣医保健看護学科	2④	1	④	水曜	水3-5
					獣医解剖学実習	獣医学科	2④	2	④	月曜・火曜・水曜・木曜	月3-5・火3-5・水3-5・木3-5
					公共獣医事情報解析実習	獣医学科	5③	1	③	金曜	金3-5
					(学外)						
					(学外)						
					総合参加型臨床実習	獣医学科	5①	6	①	月曜・火曜・水曜・木曜	月1-4・火1-4・水1-4・木1-4
					病院動物看護実習	獣医保健看護学科	3④	2	④	月曜・火曜・水曜	月1-5・火1-5・水1-5
					(学外)						